

ひな人形と男女の並び

この辺りの地域では旧暦に習い、ひな祭りを4月3日に行うことが多いようです。ひな人形を桃の花と一緒に飾り、ひなあられややし餅を買い、白酒や料理を楽しむ。ぜひそんな華やかなひな祭りにしたいものです。

さて、押し入れにしまつてあるひな人形をきれいに拭いてあげて、ひな段を組み立て、さあ上から順に並べようと思つたとき、「男びなと女びなの左右の並び方は、どちらがどちらだったっけ？」と迷つたことはありませんか？この並びの歴史には諸説あつて地域によつても違います。現在では右（向かつて左）に男びなを置くのが一般的だといわれています。

実はこの「男性が右、女性が左」という男女の並びは、日常生活における夫婦やカップルの並びにおいても多く見受けられ、6〜7割の男女のペアにおいて男性が右、女性が左で並んで街を歩いていると言われています。その理由として、さまざま深

層心理が働いていることが挙げられます。

まず一つは、多くの人の利き腕である右手を敵に向け、左手で女性を守り主導権を握るという心理が、男性側に働いているというものです。女性は逆に男性に身を委ね、守ってもらいたいという心理が働いているのかもしれない。また他には、「パーソナルスペース(他人に侵されたくない個々の領域)」は一般的に右側のほうが広く、女性の右側を守ること、相手より優位に立ちたいという気持ち、男性には働いているともいわれています。当然のことながら、男女逆の場合もあります。

ひな人形の場合もありません。基本的に左右どちらが正しい位置か定められているわけではありませんが、もし迷つた時は、自分がどちらに立っていたいかを想像して置いてみるのも面白いかもしれません。



〈他人事じゃない!? 怖〜いトラブル〉

消費生活のお話

広報広聴係（内線185）

こんな電話にはご注意ください

「いらぬ着物や不用品をお宅に出向いて買い取ります」
特定商取引法が改正され、事業者が自宅に訪ねてきて物を買取取る行為は、「訪問購入」として、規制の対象となりま

た。
この規制の背景には、貴金属の押し買い（強引に安価で買い取ること）の被害が爆発的に増加したことがあります。電話で不用品などの買い取りの勧誘があり、了承すると後日訪問した業者に、「不用品だけでなく、貴金属はお金になる」と言われ、急かされてあまり深く考える余裕も与えられず、自宅にある指輪やネックレスの買い取り契約をしてしまったという相談が実際に多くありました。

訪問購入にも、クーリングオフ制度が適用されます。クーリングオフの期間中であれば、消費者は物品の引き渡しを拒むことができます。また、事業者には、契約時に契約書を交付する義務があります。

見積りや査定だけのつもりで事業者に來てもらう場合には、依頼するときにその旨をはっきり相手に伝えることが、トラブル回避のためには重要です。

少しでも不安に思つたらご相談ください。

消費生活相談窓口

日時 月～金曜日 午前9時～午後4時（予約優先）

場所 市役所1階 広報広聴係

※相談には、できるだけ契約者本人がお越しください。

